

Windows8/8.1 64bit 版へのインストール

○Windows8及び8.1 64bit版をご使用の場合、下記の手順にて一時的に「ドライバー署名の強制を無効にする」設定を行い、ドライバーをインストールいただくことで、正常にご使用が可能です。

◆ドライバのインストールの前に・・・

・対応機種を確認してください。

・32bitをご使用のお客様は必要ありません。【OSシステムbitの確認方法】

※1 パソコンにインストールされているOS をメーカーサポート以外の方法でアップグレードされた場合や、デュアルブート環境は動作保証/サポートの対象外となります。

※2 仮想環境上で構成されたWindows 環境（Boot Camp を含む）は動作保証/サポートの対象外となります。

・インストールの作業は他のプログラムを全て終了してから行って下さい。

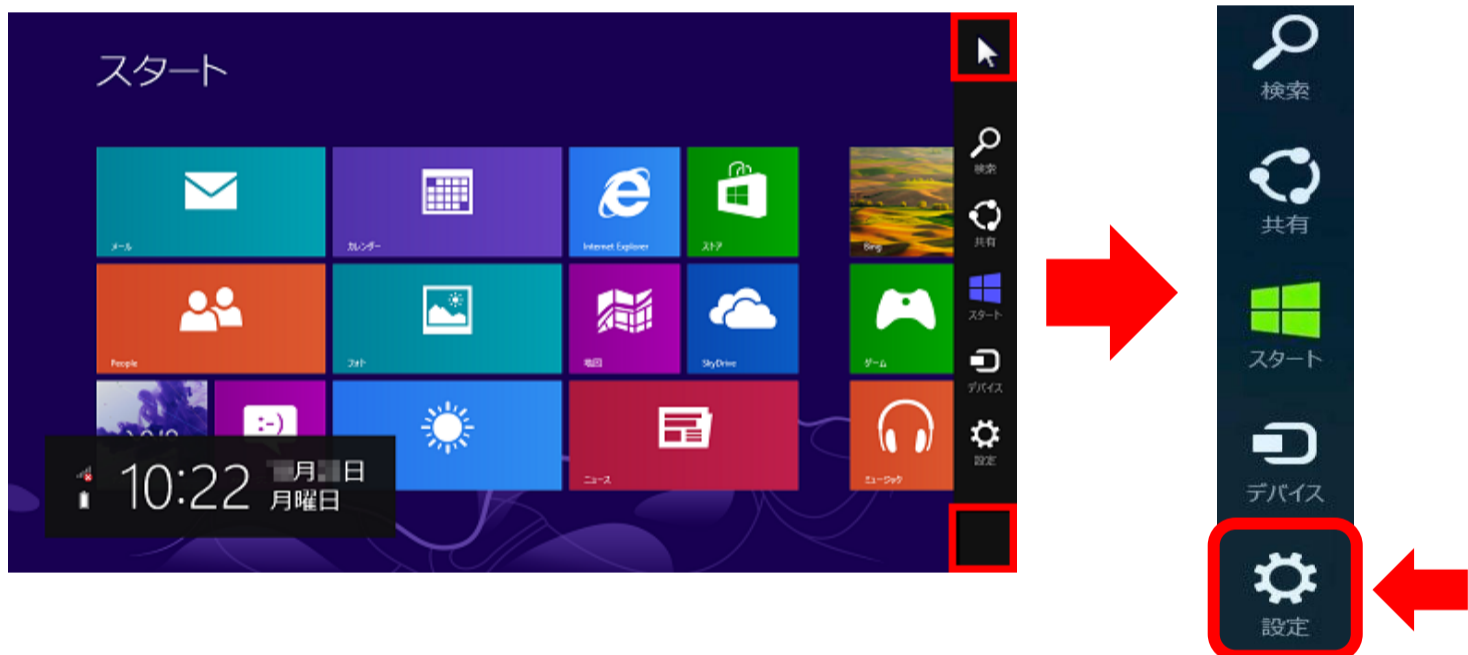
・一度インストールすると次回からはドライバーのインストールを行う必要はありません。

Windows8 64bit 版へのインストール手順

本操作の対象OS : Windows 8 (64bit 版)、Windows 8 Pro (64bit 版)

1. PCの「ドライバー署名の強制を無効にする」設定切替を行います。

- ①. 画面右上隅もしくは右下隅にマウスポインタを移動しチャームバーを表示させ、『設定』をクリックして下さい。



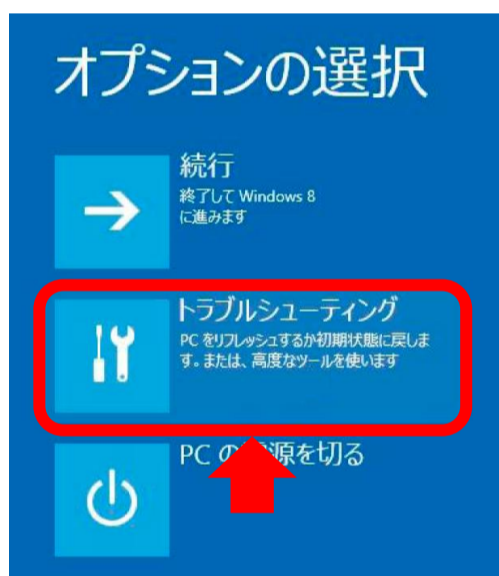
- ②. 『PC設定の変更』をクリックして下さい。



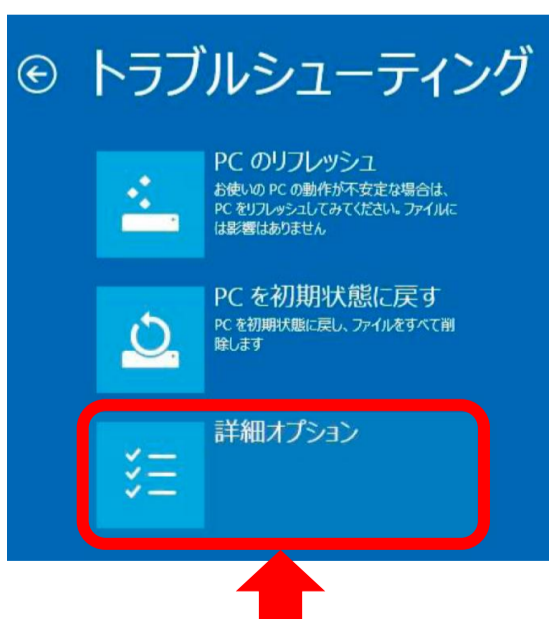
- ③. 「PC 設定」画面が開きます。左側メニュー「全般」をクリックすると、右側メニューが切り替わります。右側メニュー下部の「PC の起動をカスタマイズする」の「今すぐ再起動する」をクリックしてください。



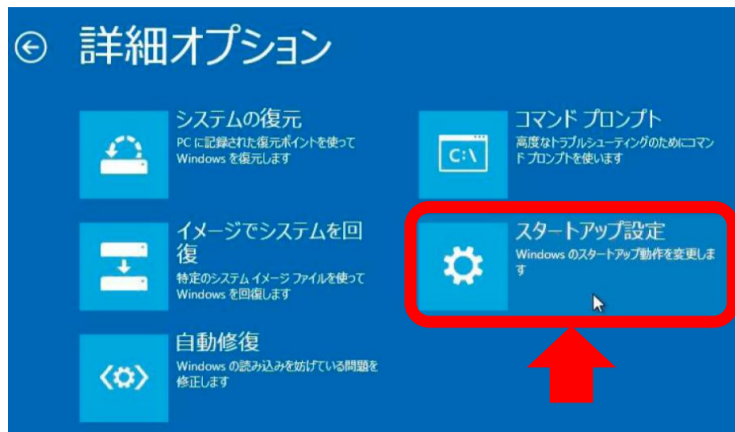
- ④. 「オプションの選択」画面が表示されます。「トラブルシューティング」をクリックしてください。



- ⑤. 「トラブルシューティング」画面が表示されます。「詳細オプション」をクリックしてください。



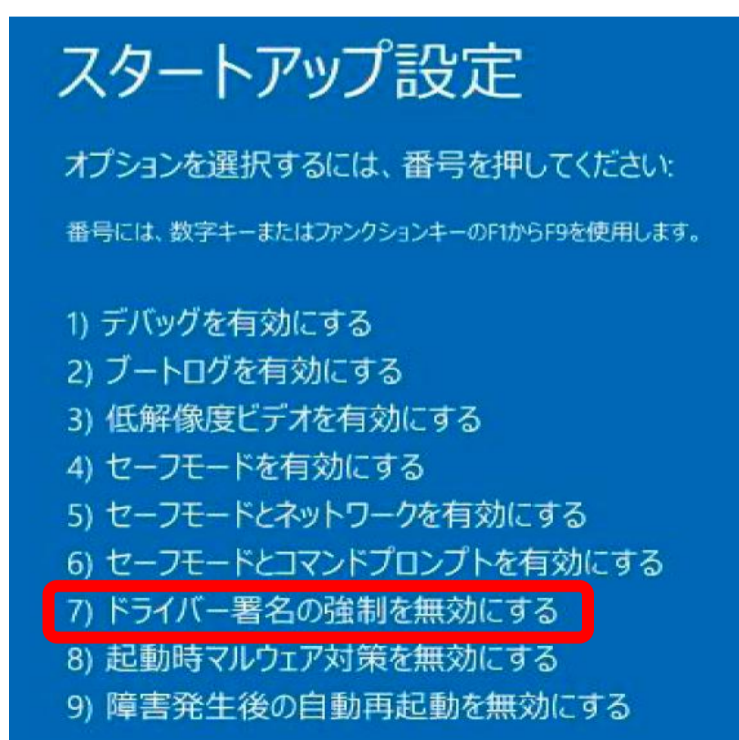
- ⑥. 「詳細オプション」画面が表示されます。
「スタートアップ設定」をクリックしてください。



- ⑦. 「スタートアップ設定」画面が表示されます。
右下の「再起動」をクリックするとパソコンの再起動が自動的に行われます。



- ⑧. パソコン起動時に「スタートアップ設定」画面が表示されますので
キーボードの「F7」キーを押すと、パソコンが起動します。
一時的に「ドライバー署名の強制を無効にする」設定が完了します。



- ⑨. 更新手順2.64ビットのパソコン専用ドライバーのダウンロード/インストールを行って下さい。